

# 箱根湿生花園の

# 花だより

## ヒメサユリ

「姫小百合」(ユリ科)  
本州(山形県、福島県、新潟県)の山地の草地に生える多年草。名前の由来は小型でサユリ(ササユリ)に似ていることから。日本固有種。



## Pick Up トビシマカンゾウ 「飛島萱草」(ユリ科)

トビシマカンゾウは飛島(山形県)、佐渡島(新潟県)の海岸に生える多年草です。橙黄色～濃黄色の花を15～30個付け、下にあるものから順に咲いていきます。ニッコウキスゲによく似ていますが、全体に大型で、花数が多いことが特徴です。トビシマカンゾウはヘメロカリス(*Hemerocallis*)属に属します。ヘメロカリスはギリシア語で「一日の美しさ」という意味があり、花が咲いた次の日にはしぼんでしまう一日花であることに由来します。また、ヘメロカリス属の花は大変美しいことから、野生種をもとに2万品種以上の園芸品種が作出されました。箱根湿生花園では、ヌマガヤ草原区でトビシマカンゾウを観察することができます。

トビシマカンゾウやハマナスなどの花が次々と咲き始め、園内がカラフルになっています!新緑に映える、美しい日本の植物をお楽しみください。

## File3 コマルハナバチ ハチ目(膜翅目)ミツバチ科

5～6月にかけて、ハマナスなどの花を観察していると、コマルハナバチがせわしなく花粉を集めている姿を見かけます。目を引くフサフサした黒い体毛で餌である花粉を効率良く集め、後ろ脚に花粉団子を作ります。マルハナバチの仲間は花粉を全身につけた状態で花の上を動きまわるため、植物にとっては受粉効率が良く、子孫を残す上でとても重要な昆虫といえます。性格は非常におとなしく、手でつかんだり強く刺激しない限り刺してくることはほとんどありません。



ニッコウキスゲ



カキツバタ

園内では、たくさんの可愛らしい花々が咲きはじまりました。ヌマガヤ草原区では、ニッコウキスゲやレンゲツツジなどを観察できます。

## Botanical Gallery



### アヤメ

本州～九州のやや乾いた草地に生える多年草。花に黄色の網状の模様がある。



### アサザ

本州～九州の池や沼などに生える多年生の水草。若葉は食用になる。



### クロユリ

北海道～本州(中部地方以北)の高山帯の砂礫地に生える多年草。花は下向きに咲く。



### クサタチバナ

本州(関東地方以西)～四国の山地に生える多年草。名前の由来は、花がミカン科のタチバナに似ていることから。



### イブキトラノオ

北海道～九州の山地から高山の日当たりのよいところに群生する多年草。名前の由来は伊吹山に咲いていたことから。



### ハマナス

北海道～本州(茨城県、島根県)の海岸の砂地に生える落葉低木。名前の由来は果実をナシにたとえた「浜梨」がなまったことから。



## チョウジソウ「丁字草」(キョウチクトウ科)

本州～九州の川のそばなどのやや湿った草地に生える多年草。名前の由来は花がフトモモ科のチョウジの花に似ていることから。



## カザグルマ

「風車」(キンポウゲ科)

本州～九州の林縁などに生えるつる性の低木。白色～淡紫色の花を上向きにつける。名前の由来は花の形がおもちゃの風車に似ていることから。

## ご利用案内

通常営業 9:00～17:00(最終入園16:30)  
大人(中学生以上)700円 小人(小学生)400円

## アクセス

小田原駅または、箱根湯本駅より箱根登山バス(湖尻・桃源台行)“仙石案内所前”下車、徒歩8分。強羅駅より箱根登山バス(湿生花園行)終点下車。東名高速道路・御殿場ICより、車で20分。

Hakone Botanical Garden of Wetlands

# はこね湿生花園

〒250-0631 神奈川県足柄下郡箱根町仙石原 817

<http://hakonekanko.com/>